

「とうきょう認知症希望大使」プロフィール

樋口 賢（ひぐち けん）

大田区在住、59 歳

空港の保安防災業務に関わっていた 54 歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。介護施設の清掃職員として再就職した後、現在はデイサービスに通い、昼食の調理や庭の手入れ等を楽しんでいる。

能任 智子（の と ともこ）

昭島市在住、69 歳

自治体職員として、約 30 年にわたり保育園の給食調理業務に関わってきた。66 歳の時に認知症と診断された後も、趣味のスポーツや旅行を楽しんでおり、近隣の友人とも変わらず交流を続けている。デイサービスでは洗車やあずま袋製作等に取り組んでいる。

田尾下 久（たおした ひさし）

多摩市在住、80 歳

ボイラー技士として、世界各国や全国各地の発電所建設に関わってきた。現在は、多摩市内の認知症当事者の会「みらいの会」で活動しており、認知症の当事者に対して集いへの参加を呼び掛けている。

岩田 美枝（いわた よしえ）

品川区在住、83 歳

30 年以上にわたって書道塾を経営し、子どもから大人まで指導してきた。グループホームで生活している現在も、月に 2 回書道教室を開き、子どもたちに教えている。

長田 米作（おさだ よねさく）

練馬区在住、89 歳

紳士服を縫製する職人として、個人商店を営んできた。現在は、練馬区の認知症本人ミーティング（※）に参加し、参加者からの相談にのるなど、交流を楽しんでいる。

※認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場のこと

* 年齢は収録日（令和 4 年 9 月 9 日）時点です。

* それぞれの方の活動は新型コロナウイルスの感染状況で休止している場合もあります。